

洋光台サイエンスクラブ 環境体験教室における取組み
Yokodai Science Club Activities for SDGs

はまぎん こども宇宙科学館
HAMAGIN SPACE SCIENCE CENTER

[実施日]

2019 年 4 月 1 日 ~2019 年 3 月 31 日

[実施場所]

はまぎん こども宇宙科学館

[関連の深い Goal]

- Goal 6 安全な水とトイレを世界中に
- Goal 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- Goal 1 2 つくる責任 つかう責任
- Goal 1 3 気象変動に具体的な対策を
- Goal 1 4 海の豊かさを守ろう
- Goal 1 5 陸の豊かさも守ろう

[実施報告]

はまぎん こども宇宙科学館では、洋光台サイエンスクラブという教室事業を行っております。その中には NPO 法人 神奈川県 環境学習リーダー会と共同で「環境体験教室」という教室を、年間 43 教室行っております。この環境体験教室では、子どもたちに向け、環境保全のためにできることを中心に講座を行っております。

例えば、環境体験教室のうち、「環境に優しい入浴剤を作ろう」では、クエン酸と重曹を用いて、手作りの発泡入浴剤を作りながら、化学合成物質が人体や、それらが溶け出した水が流れ込む河川や海の生き物へ与える影響を学びました。「和泉川・地蔵原の水辺で生き物観察会」では、近隣の河川まで行き、水質調査やそこに住む生き物を調べたりしました。

また、「プラスチックのリサイクル実験」や「植物ジュニアレンジャー活動」では、レジ袋やペットボトルの蓋などのプラスチックごみの例をみてみたり、実際に浜辺に行ってマイクロプラスチックを探してみたりといった活動を行いました。特にマイクロプラスチックは、現在海の生物への影響が大きな問題とされています。

こうした活動は、「製品ライフサイクルを通じ、環境上適正な化学物質や全ての廃棄物の管理を実現し、人の健康や環境への悪影響を最小化するため、化学物質や廃棄物の大気、水、土壌への放出を大幅に削減する。」という SDGs におけるターゲットの一つに繋がると、私

たちは考えております。

2018年度のSDGs達成度において、日本は目標12「つくる責任 つかう責任」と、目標13「気候変動に具体的な対策を」は依然として課題が残されていると評価を受けています。この問題解決のためにも、教室を通じて多くの人に、私たちの行動と、それに伴う環境への影響について考えてもらえるよう努めていきます。



製品のパッケージをみてどんなものが含まれているのか改めて調べてみる参加者たち



様々なプラスチックごみ



実際に近隣の河川へ赴き、水質調査やそこに生息する生物の調査を行った。